

出島指定管理者候補者選定審査会
審査報告書



令和元年 10 月



令和元年 10 月 22 日

長崎市長 田上 富久 様

出島指定管理者候補者選定審査会
会長 藤田 渉



出島指定管理者候補者選定審査会における審査結果について（報告）

出島の指定管理者の指定に係る申請内容の審査を行いましたので、審査結果について次のとおり報告します。

1 審査結果

(1) 第一順位 出島VOF

2 選定審査会の構成

会長	藤田 渉	国立大学法人長崎大学経済学部教授
職務代理者	姫野 順一	長崎外国語大学副学長
委員	古村 一也	日本旅行業協会九州支部長崎県地区委員会委員長
委員	湯浅 純	株式会社長崎経済研究所常務取締役
委員	脇坂 俊博	九州北部税理士会長崎支部

3 審査の方法

応募者から提出された申請書類に不備がないか、募集要項に記載された応募資格等の要件を満たしているかを確認し、事業計画書等の内容や面接に基づき審査を行いました。

また、施設を管理運営する安定した経営能力を有するかについて、応募団体の財務諸表等により審査を行いました。

なお、審査にあたっては、公平性及び公正性を確保するため団体名を伏せて実施しました。

4 審査の経緯

回数	開催日	内容
第1回	令和元年8月8日	・会長の選出 ・指定管理者制度、施設の概要の説明 ・募集要項等の説明及び協議
第2回	令和元年10月22日	・審査基準の説明 ・書類及び面接審査

5 申請団体（1団体のみ）

- ・ 出島VOF 代表団体 長崎自動車株式会社
- 構成団体 長崎バス商事株式会社
- 構成団体 長崎バスホテルズ株式会社
- 構成団体 長崎バス建物総合管理株式会社
- 構成団体 長崎総合警備株式会社

6 長崎市への固定納付金 年間 27,500 千円

7 提案する指定管理期間 15年

8 審査結果（採点結果は別紙のとおり）

(1) 第一順位 出島VOF

ア 安定した経営能力について

代表団体及び各構成団体の各財務諸表等により資本金、直近売上、決算所得及び税務所得等を審査した結果、良好な経営状態であると判断できる。

イ 基本事項について

代表団体のこれまでのオランダとの交流を背景に、出島の価値を認識しており、その交流を活用するノウハウを十分蓄積している。平等性についても企業として十分に研修がなされており、個人情報等の管理も優れている。

ウ 事業計画について

オランダとの交流の経験を基礎とした新しい自主事業が提案されているとともに、現状を踏まえた手堅い事業計画である。指定管理期間として15年が提案されているが、各構成団体は良好な経営状態であり、安定した経営が見込まれることから、長期継続性についても問題ない。また、長崎を代表する企業として、地元への思いや使命感が伝わるような事業計画を立てており、広告・宣伝能力を活かした長崎市民の集客や、各組織及び団体との連携も期待できる。

レストランの運営については、ホテル等との具体的な連携策、売店の運営については、商品、店舗について具体案がもっと欲しい。また、携帯自動翻訳機などのITを活用したサービスの提案がなされているが、15年という長期間の指定管理となるので、その間、さらなるITの活用を期待する。評価・改善については、適切な評価の方策が提案されている。

エ 管理運営体制について

現状を踏まえた手堅い人員配置となっており、インフラ企業として管理の提案も適切であるとともに、各組織や団体との連携も十分に期待できる。また、接遇研修や出島の歴史研修、コミュニケーション研修など様々な研修を実施することとしており、高品質なサービスの提供が見込まれる。

オ 価格点について

長崎市へ納付する固定納付金は、毎年度 27,500 千円で提案されており、長崎市が設定した下限額 27,000 千円以上であることから問題ない。

9 審査会総評

基本事項、事業計画、管理運営体制、価格については適切であり、提案内容についても長崎を代表する企業として、地元への思いや使命感が伝わるような提案となっている。また、出島の価値をおおむね適切に認識しており、特に代表団体のこれまでのオランダとの交流を活かした集客提案は斬新で、イノベーション計画も含めて今後に期待する。以上のことから、出島VOFは出島の指定管理者として適切であると判断される。

採点結果

区分	大項目	評価項目	評価の着目点	配点			採点 (第一順位)	
				各委員	全体	計	出島VOF	
技術点	基本事項	基本方針	施設の設置目的を踏まえた基本方針・理念を持っているか	4	20	60	17	53
		平等利用の確保	施設の運営について、公平性を確保する考え方と方策が適切であるか	4	20		18	
		個人情報の保護	施設の利用者の個人情報の保護に関する考え方と取り組みは適切か	4	20		18	
	事業計画	施設の設置目的と計画	施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか	8	40	220	30	166
		長期継続性	5年以上15年以内の範囲で、長期であり、かつ当該期間継続する効果・メリットが発揮できる提案であるか また、固定納付金の根拠となる経費の縮減及び利用料金の増収が実現可能なものであるか	8	40		30	
		自主事業	「出島」にブランド性を持たせ、その価値を高める魅力的で創育工夫のある提案であるか	8	40		30	
		サービスの向上	入場者へのおもてなしに配慮し、入場者の増加や利便性を高める提案であるか	4	20		18	
		レストランの運営	「出島」をコンセプトにしたメニュー等を提供できるか 事業計画・収支計画は現実的か	4	20		12	
		売店の運営	出島及び長崎の観光をコンセプトにした商品を取り扱うことができるか 事業計画・収支計画は現実的か	4	20		12	
		広告・宣伝	出島の魅力を伝えるとともに、集客力のある広告・宣伝ができる提案となっているか	4	20		18	
	評価と改善	当該施設の設置目的を達成するために、事業を評価・改善する方策があるか	4	20	16			
	管理運営体制	人員配置	職員の人員配置について、経費削減ができる効率的な配置となっているか また、長崎市と各業務の従事者との相互の連絡事項が確実に伝わるような連絡体制となっているか	8	40	80	30	67
		施設管理	当該施設の管理に係る基本的事項（職員研修、備品管理等）は適切であるか	4	20		18	
		緊急時の対応	防犯、防災等の未然防止に対する取り組みは適切か 事故など、緊急時における、連絡体制、マニュアル等危機管理体制は適切か	4	20		19	
	技術点 計				72	360	360	286
価格点	価格	固定納付金	固定納付金の額は適切か、かつ経費削減や収入増の努力がなされているか	28	140	140	105.5	
合計				100	500	391.5		

(5)

